

食品接触材料安全センターメールマガジン No.34 (HP 掲載版)

食品接触材料安全センターメールマガジン No.34 (2022 年 3 月上旬号) を発行致しましたのでご覧ください。

■食品接触材料安全センターの組織と事業紹介シリーズ

食品接触材料安全センターの組織と事業紹介 (色材部会)

JCII 食品接触材料安全センター (以下、JCII) では、食品用器具及び容器包装の衛生性にかかわる調査研究、情報共有等のために、業種ごとに部会を設置することとしました。現在、複数の部会が活動していますが、ここでは色材部会の活動について紹介いたします。

色材部会は、1975 年の色材 (自主) PL 制定に始まる旧ポリオレフィン等衛生協議会 (ポリ衛協) のレガシーを受け継ぎ、国 PL 制度の下での色材管理を確立することを目的に、2020 年 8 月に活動を開始しました。色材を取り扱っておられる会員企業を中心に十数名のメンバーで毎月部会を開催して活動しています。

厚労省は、着色料 (色材) は従前より食品、添加物等の規格基準 (昭和 34 年厚生省告示第 370 号) の規程があることから、個別物質としての国 PL 管理対象にしていません。結果として、色材 (個別物質、個別銘柄) のリスク管理は、国 PL 制度の発行前と同様に、色材の製造、使用、そして着色器具・容器包装の使用、流通にかかわる各企業に委ねられています。

このような経緯から、幅広い会員企業から、旧ポリ衛協の色材管理を継続することへのニーズがあり、色材の PL 化と確認証明制度を維持することによるリスク管理の簡便化を目指しています。これが JCII そして色材部会での今日の活動につながっています。

JCII の会員ホームページには、ポリ衛協承継資料集に色材 PL を掲載していますが、色材部会でまとめた色材 PL にかかわる FAQ 集も掲載しています。また、色材部会では色材に関する課題をリストアップして、重要度が高い課題から対応を検討しています。現在、無機顔料とりわけ酸化チタンについて検討中ですが、今後、他の課題についても順次検討する予定です。検討結果は必要に応じて JCII 会員ホームページで公開するとともに、JCII 各委員会に諮ったうえで JCII の活動に取り入れてもらう方針です。また重要事項については、JCII 事務局を通じて国の行政に反映していただくべく取り組みます。



■ PL 制度における既存物質の整理と PL 制度の再編について

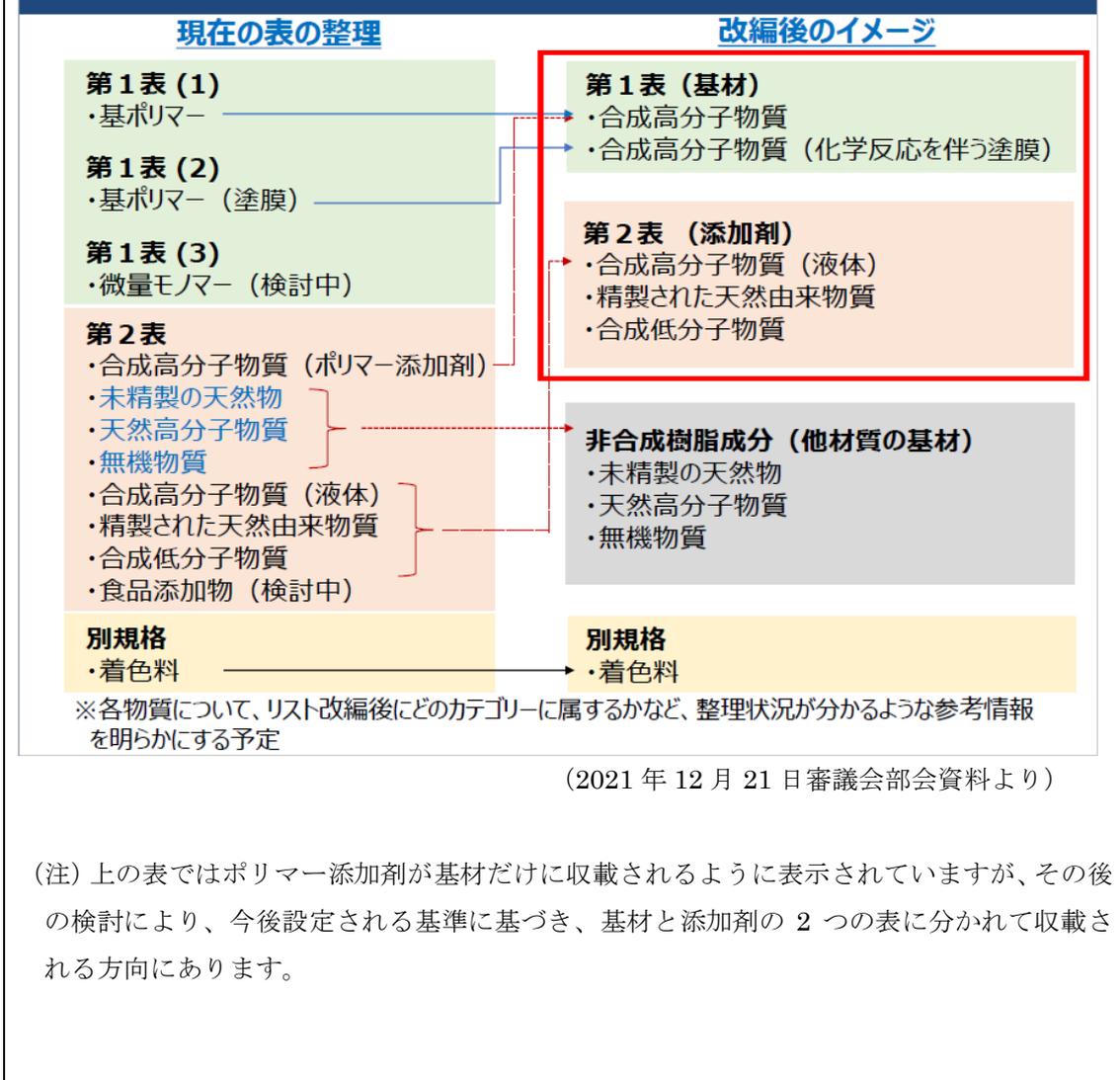
PL 制度における既存物質の再整理と PL の改編について

厚生労働省は、2021 年 12 月 21 日の審議会部会において、既存物質の再整理と PL の改編に向けた基本方針を示しました。今回は、リスト改編の全体像について紹介します。

従来の第 1 表（基ポリマー）における(1)プラスチックと(2)コーティング（塗膜）は一体化され、基材リストに改編されます。(3)微量モノマーの扱いは検討中とされています。

従来の第 2 表（添加剤）においては、未精製の天然物、天然高分子物質や無機物質が除外され、合成樹脂に関連する合成低分子物質を中心に改編されます。なお基材としての技術的効用が期待できない液状ポリマー、分子量 1,000 以下のポリマー、またポリマー添加剤の中で基材としての技術的効用が期待できないもの、更に精製された天然物については、この改編された添加剤リストに収載されます。

(3) ポジティブリストの改編と物質の再整理の検討状況 (添加剤についての再整理含む)



■お知らせ

食品接触材料に関する内外の動き

●3月2日 PFOA 化審法一特指定に向けたパブコメ開始。

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=595222010&Mode=0>

●2月28日韓国環境省は「包装材料リサイクル容易性等級評価基準」に従った4つの材質・構造等級「リサイクルに最適」、「リサイクルに適している」、「リサイクルが普通」、「リサイクルが困難」の区分について、事業者は2022年9月30日までに韓国環境公団に包装材料の材質・構造評価申請書を提出するよう告示した。

<https://www.law.go.kr/%ED%96%89%EC%A0%95%EA%B7%9C%EC%B9%99/%ED%8F%AC%EC%9E%A5%EC%9E%AC%EC%9E%AC%ED%99%9C%EC%9A%A9%EC%9A%A9%EC%9D%B4%EC%84%B1%EB%93%B1%EA%B8%89%ED%8F%89%EA%B0%80%EA%B8%B0%EC%A4%80>

●3月7日中国は、国家標準「GB 31604.8-2021 食品接触材料及び成形品の総移行量の決定」を施行した。

●先頃中国衛生部は、食品工業協会が作成した業界標準「食品接触材料及び製品適合宣言ガイダンス通則」案、「食品接触材料及び製品用接着剤適合宣言ガイダンス通則」案を一般協議に付した。

<http://www.cnfia.cn/wp-content/uploads/2022/02/tb-shi-pin-jie-chu-cai-liao-fu-he-xing-sheng-ming-tong-yong.doc>

<http://www.cnfia.cn/wp-content/uploads/2022/02/tb-shi-pin-jie-chu-yong-nian-he-ji-fu-he-xing-sheng-ming.docx>

●先頃欧州委員会は、プラスチック規則（PIM）PL 収載スチレンモノマーに SML を設定すべく一般協議を始めた。コメント提出期限は4月11日。

https://ec.europa.eu/food/safety/chemical-safety/food-contact-materials/consultation-process_en

●2月17日欧州委員会「毒性のない環境の意味合いにおける PVC の用途 最終報告書・附属報告書」。

<https://op.europa.eu/en/publication-detail/-/publication/e9e7684a-906b-11ec-b4e4-01aa75ed71a1/language-en#>

●3月2日国連 UNEA5.2 は、プラスチック汚染に対する強制力ある国際協定の締結に向け、政府間交渉委員会の設立を含めた決議を採択した。2024年を目途に法的強制力ある国際協定案を取りまとめる。

https://wedocs.unep.org/bitstream/handle/20.500.11822/38522/k2200647_-_unep-ea-5-l-23-rev-1_-_advance.pdf?sequence=1&isAllowed=y

一方、この決議を報道する国連 HP には、2040年までにバージンプラスチック生産 55%削減

という記述が確認される。

<https://www.unep.org/news-and-stories/press-release/historic-day-campaign-beat-plastic-pollution-nations-commit-develop>

環境省広報。

<http://www.env.go.jp/press/110635.html>

■■■ 食品接触材料安全センターメールマガジン 配信方法の見直しについて ■■■

日頃は食品接触材料安全センターメールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。本メールマガジンは、食品接触材料分野の最新情報を紹介することをメインに、センター会員への情報提供ツールとしてスタートしましたが、このたびメールマガジンの配信方法を見直し、メールマガジン No. 26 以降につきましては食品接触材料安全センター会員窓口の方に限定して配信させていただくことになりました。

これまで通りホームページにメールマガジンを掲載してまいりますので、会員企業におられる窓口以外の方、会員以外の方はホームページからご覧ください。

(<https://www.jcii.or.jp/publics/index/164/>)

ご不便をおかけしますが、ご理解のうえご協力頂きますようお願い致します。

食品接触材料安全センターでは、食品接触材料の PL 制度をはじめ法制度への問い合わせに幅広く対応しております。ご質問・お問い合わせなどございましたらお気軽にご連絡下さい。

<https://www.jcii.or.jp/publics/index/98/>

ー JCII の個人情報の取扱いに関しましては、JCII ホームページの“個人情報保護方針”をご覧ください。(<https://www.jcii.or.jp/publics/index/9/>)

ー 本メールマガジンに関する問い合わせ・ご要望などございましたら是非お聞かせ下さい。(info-fcmssc@jcii.or.jp)

今後ともご支援、ご利用を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(発行)

一般財団法人化学研究評価機構 (JCII) 食品接触材料安全センター

〒104-0033 東京都中央区新川 1-4-1 住友不動産六甲ビル 7 階

Tel : 03-5244-9363 e-Mail : info-fcmssc@jcii.or.jp

URL : <https://www.jcii.or.jp/publics/index/65/>